

株式会社宮崎銀行 2020年3月期 決算説明資料

2020年6月5日



- 1 . ご挨拶 …P3
- 2 . 会社概要 …P4

I.2020年3月期 決算概要

- 1 . 中期経営計画「お客さま成長力No.1銀行」の結果 …P6~7
- 2 . 新型コロナウイルスが2020年3月期に与えた影響 …P8
- 3 . 2020年3月期決算サマリー …P9
- 4 . 貸出金の状況 …P10~11
- 5 . 事業性評価 ひなたの力 …P12
- 6 . 事業性評価 チャレンジ戦略 …P13
- 7 . 与信関連費用・不良債権の状況 …P14
- 8 . 預金の状況 …P15
- 9 . 役務取引等収益 …P16~17
- 10 . 有価証券の状況 …P18
- 11 . 自己資本比率の状況 …P19
- 12 . 株主還元の状況 …P20

II.新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

- 1 . お客さま支援の状況 …P22
- 2 . コロナに関する対応状況 …P23

III.2021年3月期 業績予想

- 1 . 2021年3月期 業績予想 … P25

IV.中期経営計画「With You」

- 1 . 新中期経営計画 (With You) …P27
- 2 . 「With You」の概要 …P28
- 3 . 計数計画 …P29

V.SDGsに関する取り組み

- 1 . CSR型私募債の引き受け状況 …P31
- 2 . 持続可能な地域経済の成長 …P32
- 3 . 持続可能な地球環境の形成 …P33
- 4 . 持続可能な地域社会の実現 …P34

VI.代表取締役の異動

- 1 . 代表取締役の異動について …P36



取締役頭取 平野 巨也

新時代が幕を開け、東京五輪の開催に国民の昂揚感が高まっていた令和二年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による世界的な経済の減退によりまさに未曾有の経済危機に直面しています。

コロナ禍によって浮き彫りとなった課題は、「東京一極集中の脆弱さ」「サプライチェーンの海外依存」だと認識しており、今こそまさに、地方活用への転換期として地方創生を一からデザインし直すことが問われているのだと思います。

このような厳しい経営環境の中、当行は、2020年4月より新中期経営計画「With You」をスタートさせました。

本計画では、当行の経営理念の浸透と健全な企業文化の醸成を目的に、役職員の行動規範として「みやぎんフィロソフィ」を制定しました。「地域の新しい未来を実現する」という「長期ビジョン」のもと、「With Region」「With Customer」「With Innovation」を基本方針として、地域の持続的な成長をサポートしていくことを目指すとともに、地方銀行の原点に立ち返り、コンサルティングを通じたお客さまとの「対話」を大切にすることで、この3年間はお客さまと当行が飛躍を遂げるための重要な期間と位置付けています。

また、当行はSDGsの趣旨に賛同し、「みやぎんSDGs宣言」を公表しました。これまでの地方創生や女性活躍推進など地域の持続的な成長に資する活動に加え、より具体的な目標を設定し、SDGs実現に向けた取り組みを新中期経営計画の中で一層強化してまいります。

当面は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客さまへのサポートを積極的に実施していくとともに、一日も早い経済復興の為、リーディングバンクとしての役割を果たしてまいります。

2.会社概要 (2020年3月末現在)

株式会社 宮崎銀行	The Miyazaki Bank, Ltd.
資本金	146億円
総資産	3兆3,149億円
純資産	1,473億円
預金等残高	2兆5,936億円
貸出金残高	2兆766億円
有価証券残高	5,986億円
従業員数	1,389人
格付け ((株)日本格付研究所)	長期発行体格付「A」
店舗数	国内本支店 73 出張所 23 合計 96
グループ会社	宮銀ビジネスサービス(株) 宮銀コンピューターサービス(株) 宮銀リース(株) 宮銀ベンチャーキャピタル(株) 宮銀保証(株) 宮銀カード(株)

I .2020年3月期 決算概要

1. 中期経営計画「お客さま成長力NO.1銀行」の結果

中期経営計画「お客さま成長力NO.1銀行」 2017年4月～2020年3月(3年間)

- ▶ 中期経営計画「お客さま成長力No.1銀行」では、「お客さま」を主役とし、お客さま本位の業務運営を徹底することで、収益力の強化に注力。
- ▶ 中長期重点施策に「みやぎん三本の矢～地方創生・事業性評価・女性活躍推進」を掲げ、「付加価値の高いサービスの提供」に取り組んだ結果、施策・計数ともに概ね順調に推移した。

< 中期経営計画 > 2017年4月～2020年3月 (3年間)

「お客さま成長力No.1銀行」

徹底した業務品質向上と収益力強化にこだわり、変化を恐れず、
地域の未来創造に挑戦する、真の「リーディングカンパニー」への進化

<< 基本方針 >>

業務品質の向上

営業品質 事務品質 CS品質

収益力の徹底強化

貸出金収益 非金利収益 有価証券収益

< 基本戦略1 >

金融サービス力の強化

- 法人戦略 ● 個人戦略 ● 市場戦略
- チャンネル戦略 ● IT戦略

< 基本戦略2 >

生産性の向上

- BPR戦略
- (新事務改革プラン)

< 基本戦略3 >

人財力・組織力の強化

- 人財戦略
- グループ戦略

みやぎん
三本の矢

地方創生

事業性評価

女性活躍推進

リスク管理の高度化

CS・ESの向上

コンプライアンスの徹底

1. 中期経営計画「お客さま成長力NO.1銀行」の結果

- ▶ 地元積極的に資金提供した結果、計画以上に貸出金残高が増加したため、自己資本比率が未達となったが、その他の全ての項目は、当初の計画目標を達成。

		2020年3月実績	中期経営計画 最終年度目標	差異	評価
収益性	経常利益	110億円	100億円	+10億円	○
	ROE	5.16%	5.00%	+0.16%	○
効率性	OHR (経費÷コア業務粗利益)	64.15%	69.00%	+4.85%	○
健全性	自己資本比率	8.31%	9.00%	▲0.69%	▲
成長性	総預り資産残高 (総預金残高+預り資産残高)	30,340億円	30,000億円	+340億円	○
	総貸出金残高	20,766億円	20,000億円	+766億円	○

2.新型コロナウイルスが2020年3月期決算へ与えた影響

▶ 第4四半期において、新型コロナウイルス感染拡大の影響による株式・債券市場のボラティリティの高まりをうけ、有価証券関係損益が減少。

(単位：百万円)	経常収益	コア業務純益	経常利益
2020年3月期実績 ①	50,188	13,543	11,072
2020年3月期計画 ②	46,000	11,800	11,500
差額 ①-②	+ 4,188	+ 1,743	▲428
新型コロナウイルス感染拡大による影響額	+ 2,848	+ 770	▲1,971

経常収益 + 2,848百万円

コア業務純益 + 770百万円

経常利益 ▲1,971百万円

有価証券利息配当金 + 770百万円
(投資信託解約益)

有価証券利息配当金 + 770百万円
(投資信託解約益)

有価証券利息配当金 + 770百万円
(投資信託解約益)

【国債等債券関係損益】
国債等債券売却益 + 397百万円

【国債等債券関係損益】
国債等債券売却益 + 397百万円
国債等債券償還損 ▲1,958百万円
小計 ▲1,561百万円

【株式等関係損益】
株式等売却益 + 1,680百万円

【株式等関係損益】
株式等売却益 + 1,680百万円
株式等売却損 ▲1,705百万円
株式等償却 ▲1,155百万円
小計 ▲1,180百万円

Comment

危機時のリスク対応として、当行ではリスク・エクスポージャーを減少させたため、右図のような結果となりました。

3.2020年3月期決算サマリー

単体 (単位：億円)	2020年 3月期	増減	2019年 3月期
	経常収益 ①	501.8	31.8
資金運用収益	361.7	14.0	347.7
役務取引等収益	79.9	▲ 1.4	81.3
その他業務収益	6.8	▲ 1.6	8.4
その他経常収益	53.3	20.9	32.4
コア業務粗利益 ②	377.8	14.5	363.3
資金利益	348.5	13.6	334.9
役務取引等利益	29.7	▲ 3.6	33.3
その他業務利益 (債券関係損益除く)	▲ 0.4	4.5	▲ 4.9
経費 ③	242.3	6.4	235.9
人件費	123.5	▲ 2.4	125.9
物件費	101.3	6.7	94.6
コア業務純益 (②-③) ④	135.4	8.1	127.3
除く投資信託解約益	110.1	▲ 4.2	114.3
与信関連費用 ⑤	12.6	12.1	0.5
貸倒引当金繰入額 (▲は戻入)	9.4	11.2	▲ 1.8
償却債権取立益	1.2	0.6	0.6
有価証券に関する損益 ⑥	▲ 14.0	▲ 28.0	14.0
債券関係損益	▲ 22.3	▲ 24.8	2.5
株式等関係損益	8.3	▲ 3.2	11.5
その他臨時損益 ⑦	1.9	6.4	▲ 4.5
経常利益 (④-⑤+⑥+⑦) ⑧	110.7	▲ 25.6	136.3
特別損益	▲ 0.6	▲ 2.0	1.4
税引前当期純利益	110.0	▲ 27.8	137.8
法人税等合計	33.2	▲ 4.2	37.4
当期純利益 ⑨	76.7	▲ 23.6	100.3

2020年3月期決算のポイント

- ・貸出金利息および有価証券利息配当金の増加により、資金運用収益は 前期比 + 14億円となった。
また、株式等売却益を含め、経常収益は前期比 + 31.8 億円。
- ・経常利益は国債等債券償還損の増加や固定資産償却の増加による経費の増加に加え、与信コストの増加や有価証券関係損益の減少により、前期比 ▲ 25.6億円。
- ・12期ぶりの増収減益の決算となる。

OHR

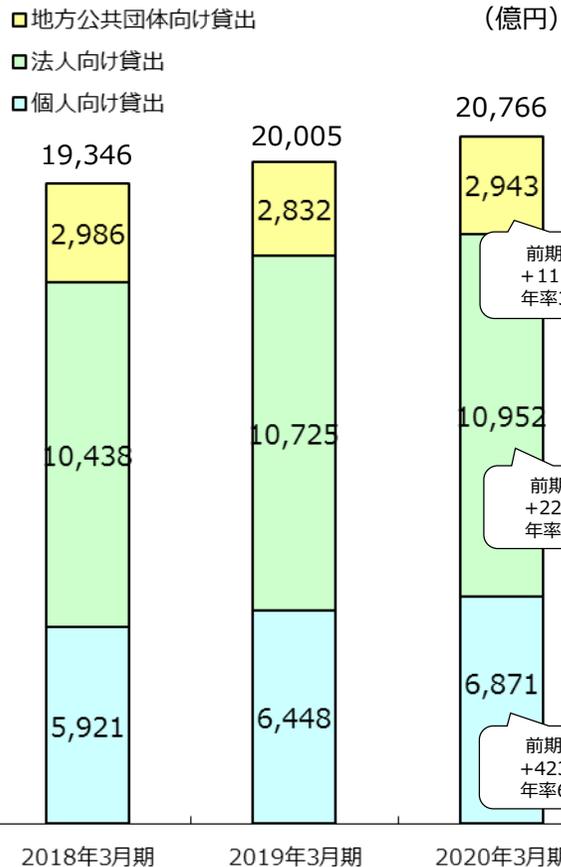
- ・2020年3月期 64.15% (前期比 ▲ 0.79ポイント)

経費が6.4億円増加したものの、コア業務粗利益が14.5億円増加。

4.貸出金の状況

- 対象別残高は、個人向け貸出、法人向け貸出、地方公共団体向け貸出ともに伸長。
- 対象別貸出金利息は、地方公共団体向けが年率▲14.7%、前期比268百万円減少したものの、個人向け、法人向け、ともに増加し、全体で前期比379百万円増加。

対象別残高の推移



対象別貸出金利息の推移

(百万円)

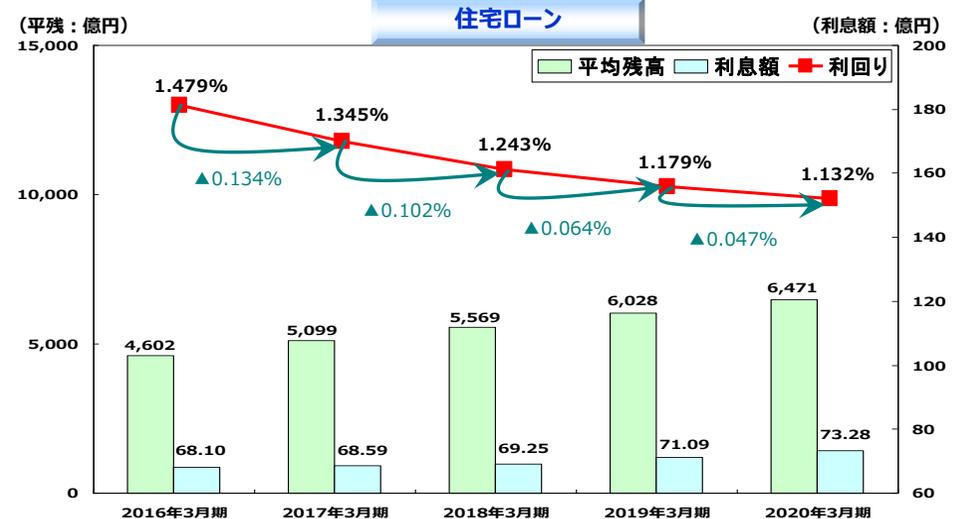
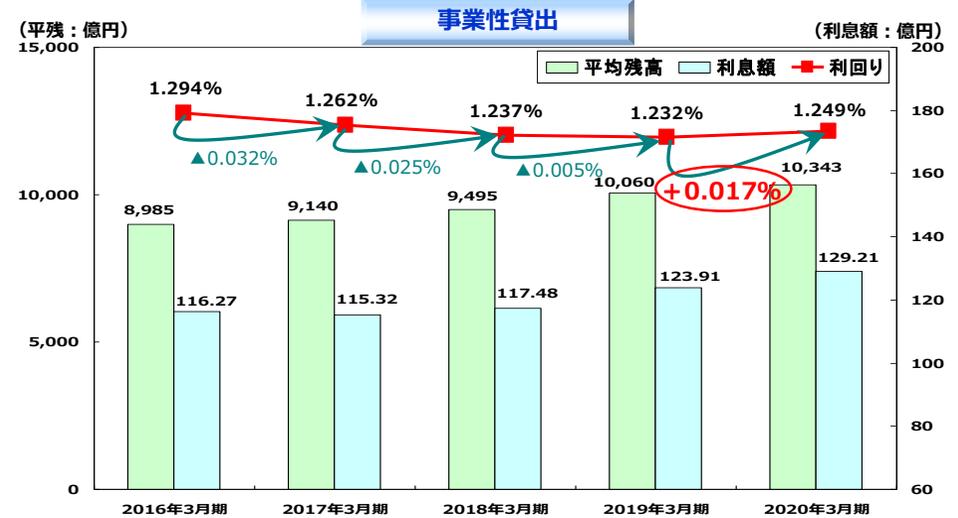
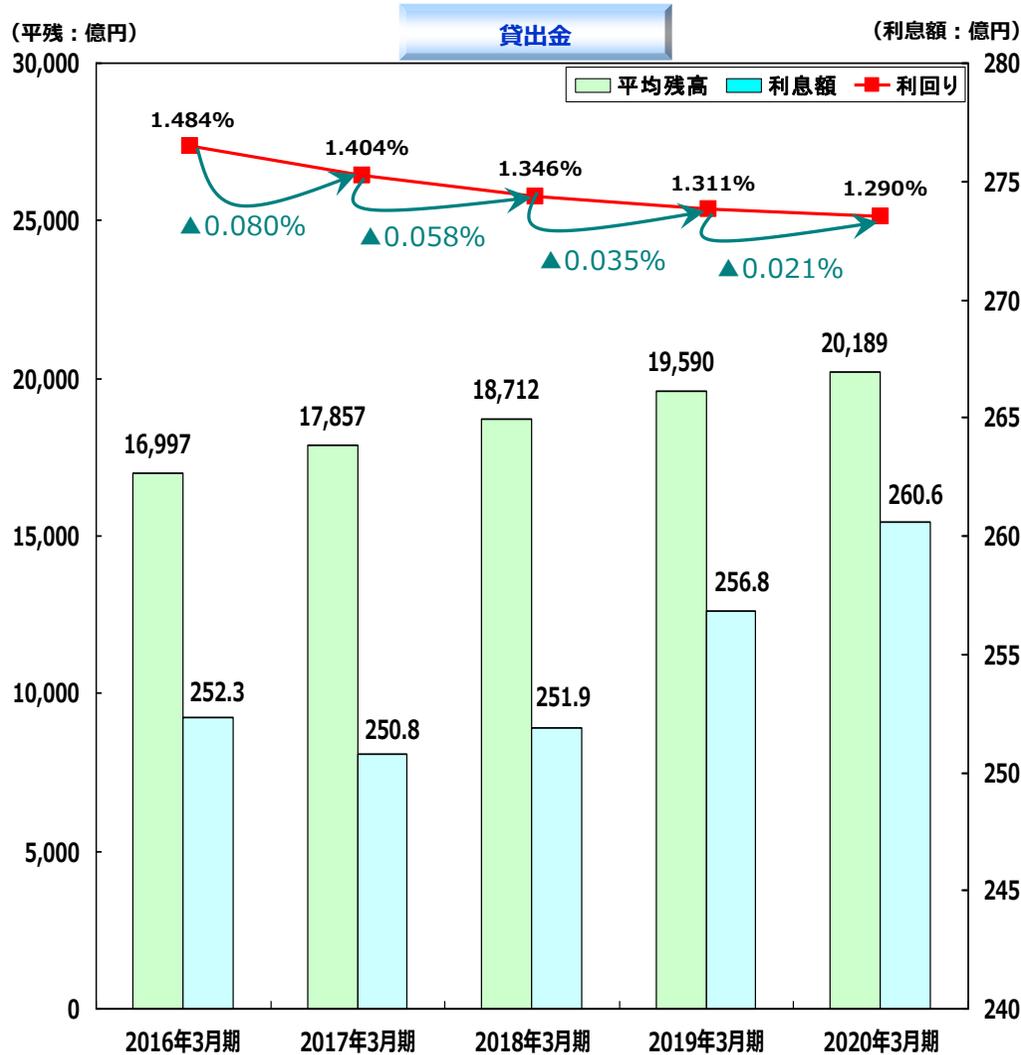
	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
個人向け貸出	10,643	10,842	+ 199 (+ 1.8%)
法人向け貸出	13,224	13,672	+ 448 (+ 3.3%)
地方公共団体 向け貸出	1,816	1,548	▲ 268 (▲ 14.7%)
合計	25,683	26,062	+ 379 (+ 1.4%)

セグメント別残高

中小企業等貸出金残高	16,225億円
・住宅ローンを中心とした個人向け貸出や、大口設備更新等の医業向け貸出、不動産賃貸業向け貸出が増加し、前期比556億円増加(年率3.5%)。	
住宅ローン貸出残高	6,281億円
・住まいのプラザを中心に業者営業強化。前期比426億円増加(年率7.3%)。	
アパートローン等残高	2,408億円
・アパートや収益物件の建て替え需要を中心に増加(前期比65億円増加、年率2.8%)。ただし、前期の増加率8.9%に比べ、増加ペースは鈍化。	
医業・介護貸出残高	1,667 億円
・病院の移転建て替え等大型の設備資金の対応により、前年同月比+62億円・年率3.8%、過去最高残高にて推移。	
アグリ関連貸出残高	752億円
・農産物生産に係る大型設備投資案件もあり、年率2.7%と堅調に推移。また、取引先数も増加しており、アグリ残高の底上げに繋がっている。	
無担保個人ローン貸出残高	512億円
・各種キャンペーン継続実施。マイカーローンを中心に前期比5億円増加(年率0.9%)。	

4.貸出金の状況

- 貸出金平残および利息額ともに増加が続く。
- 全体の利回りは低下しているが、事業性貸出金利回りは下げ止まり、前年同期比0.017ポイント上昇し1.249%。



5.事業性評価 ひなたの力

地域中核企業応援プロジェクト「ひなたの力」

- ▶ 2016年3月よりスタートした、企業の経営目標や課題を共有し、個社別のニーズに合わせた提案で、企業のステージアップを共に目指す取り組み。
- ▶ 対象先（120先）全ての代表者と3～5年後の目標を共有し、課題解決に向けた中期経営計画「ひなた未来創造PLAN」を策定。現在は、各企業の計画に則り、様々な本業支援・ソリューションを提供中であり、計画実現に向けた支援を継続。

対象先120先の
中長期的目標設定

経営の悩みや課題
潜在的ニーズの共有

「ひなた未来創造
PLAN」策定

個社別ニーズに合わせ
ステージアップを支援

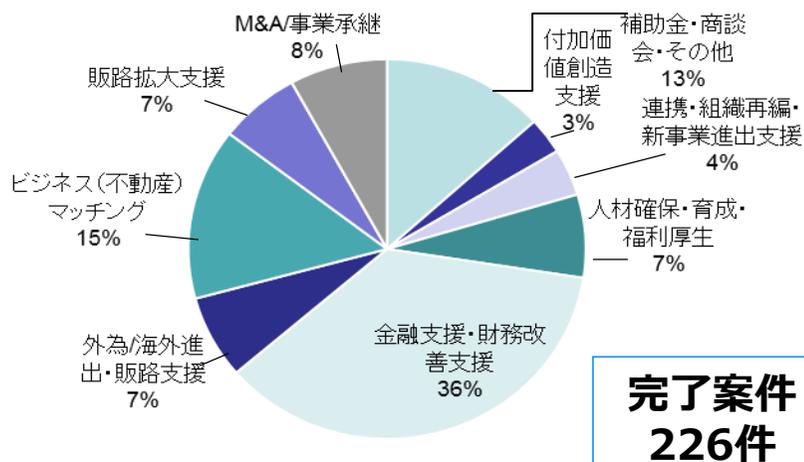
グローバル・地域
中核企業への成長

対象先を拡大

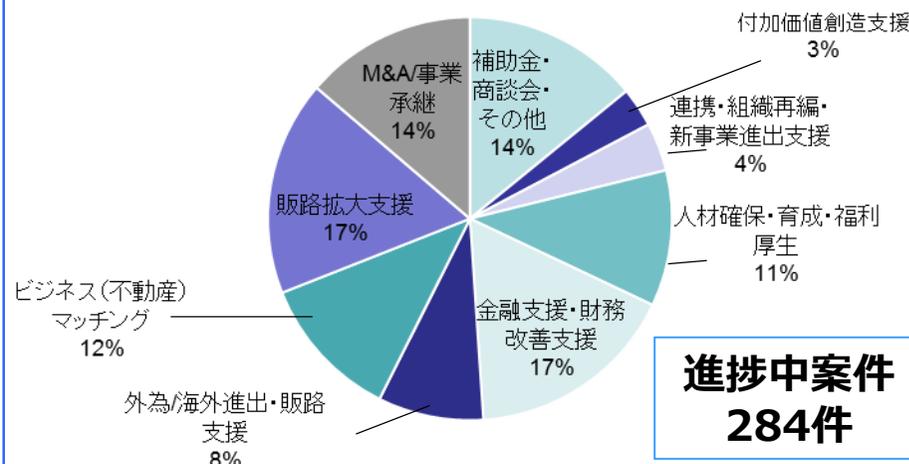
101先⇒120先



主要ニーズサポート状況（完了案件）



主要ニーズサポート状況（進捗中案件）



6.事業性評価 チャレンジ戦略

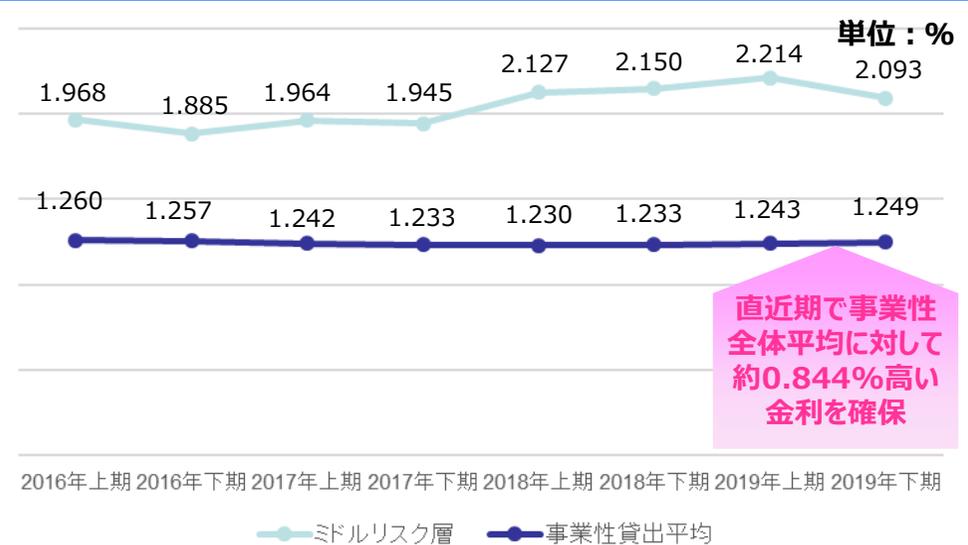
チャレンジ戦略

- ▶ 当行では、2017年10月より、事業性評価に基づく地元企業支援姿勢を明確にし、利回り改善等の収益力強化を図るため「チャレンジ戦略」を開始。
- ▶ 既存・新規のミドルリスク層に対し、事業性評価を駆使した全方面からの支援を行うことで、将来的に前向きな必要運転資金等に対応。直近期では、事業性全体平均に対して約0.844%高い金利を確保。

ミドルリスク層への貸出状況



ミドルリスク層への新規実行金利



2019/4~2020/3月 (2019年度)

チャレンジ戦略による実行額

計画

150億円

実績

184.2億円

達成率

122%

7. 与信関連費用・不良債権の状況

- 与信関連費用は、チャレンジ戦略等による地元企業への積極的な資金提供を行う一方で、将来の不良債権増加に備え、予防的な引当を実施している。
- 不良債権残高（金融再生法開示債権）は、前年同期末比8億円減少し、297億円。不良債権比率は前年同期末比0.10ポイント低下の1.42%。

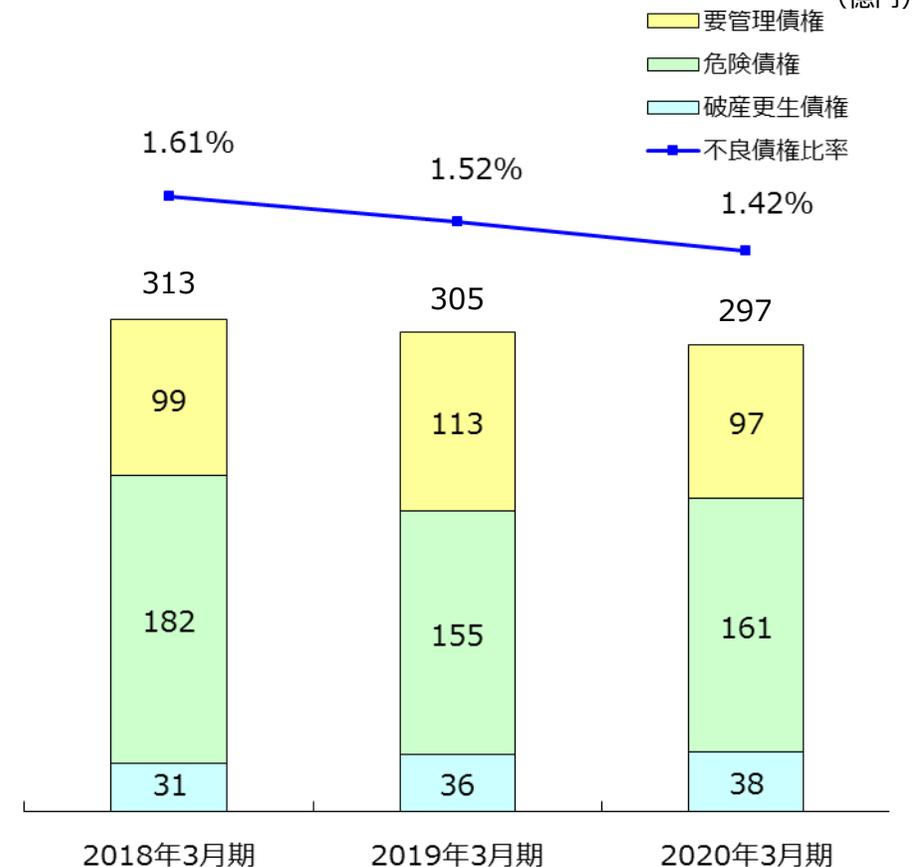
与信関連費用の推移

(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
与信関連費用 (①+②-③-④)	0.5	12.6	+12.1
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	▲2.0	▲2.0
不良債権処理額 ② (個別貸倒引当金繰入額、貸出金償却等の合計額)	3.1	15.8	+12.7
貸倒引当金戻入益 ③	1.8	—	▲1.8
償却債権取立益 ④	0.6	1.2	+0.6

不良債権（金融再生法開示債権）残高の推移

(億円)



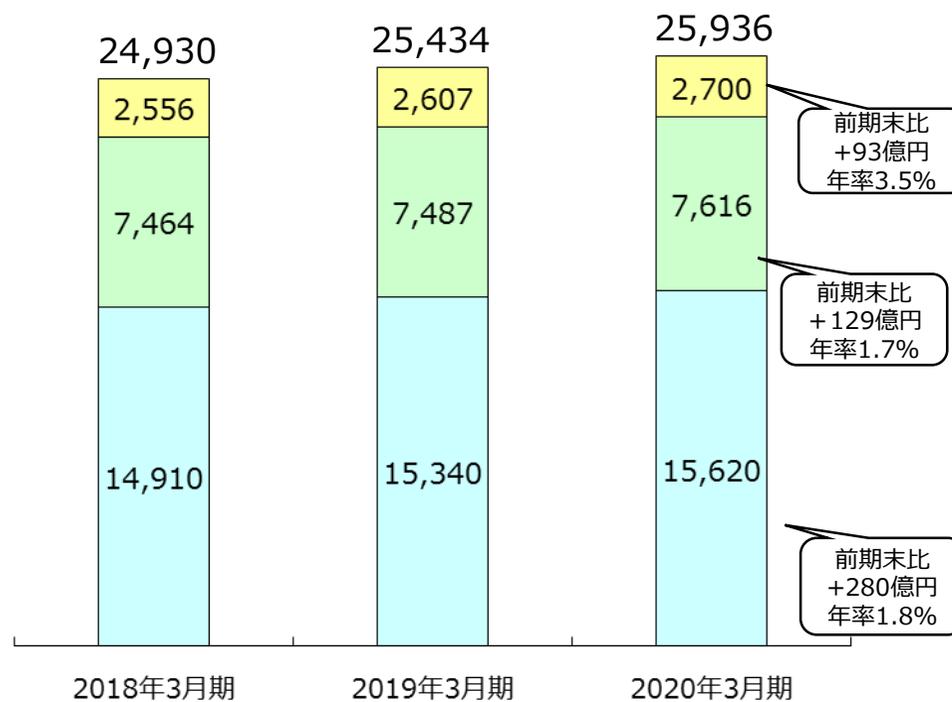
8.預金の状況

- 預金残高は、前年同期末比502億円増加し2兆5,936億円。
- 対象別および地域別残高の全ての項目において伸長。

対象別残高の推移

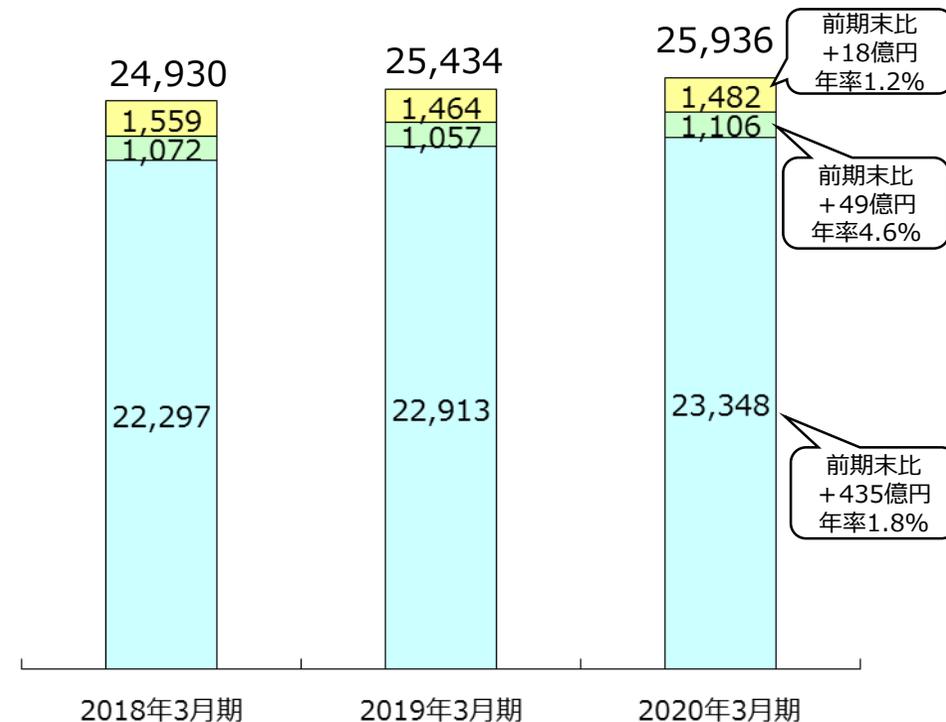
(億円)

- その他
- 法人預金
- 個人預金



地域別残高の推移

- その他
- 鹿児島県内
- 宮崎県内



9. 役務取引等収益

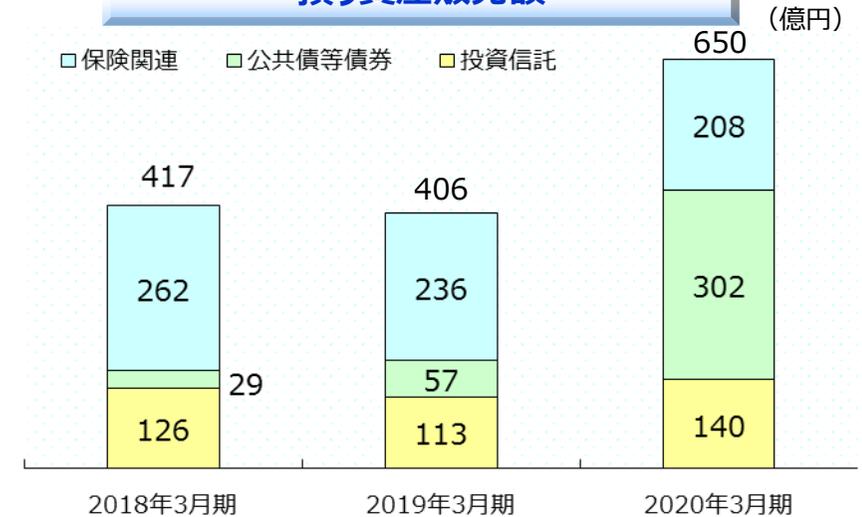
▶ 預り資産手数料は投資信託および公共債等債券手数料が増加したものの、保険関連手数料が減少。
 ソリューション手数料、その他役務収益は堅調に推移。

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
役務取引等収益	8,256	8,135	7,995	▲140
預り資産手数料	1,964	1,903	1,573	▲330
投資信託関連手数料	535	481	549	+68
公共債等債券手数料	29	48	97	+49
保険関連手数料	1,399	1,374	927	▲447
ソリューション手数料 (※)	365	288	462	+174
その他 (為替手数料等)	5,927	5,944	5,960	+16

(※) 事業承継、M&A、ビジネスマッチング、私募債等に係る手数料

預り資産販売額



預り資産残高の推移



2018年3月期

2019年3月期

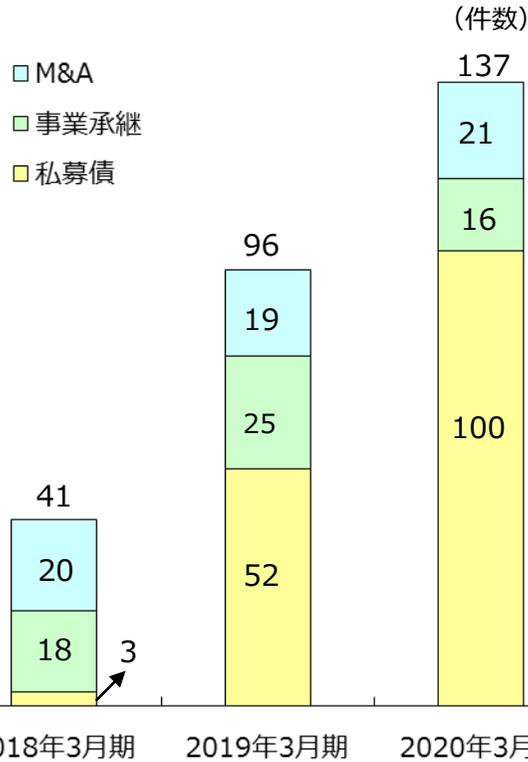
2020年3月期

※保険関連残高は累計販売額を記載

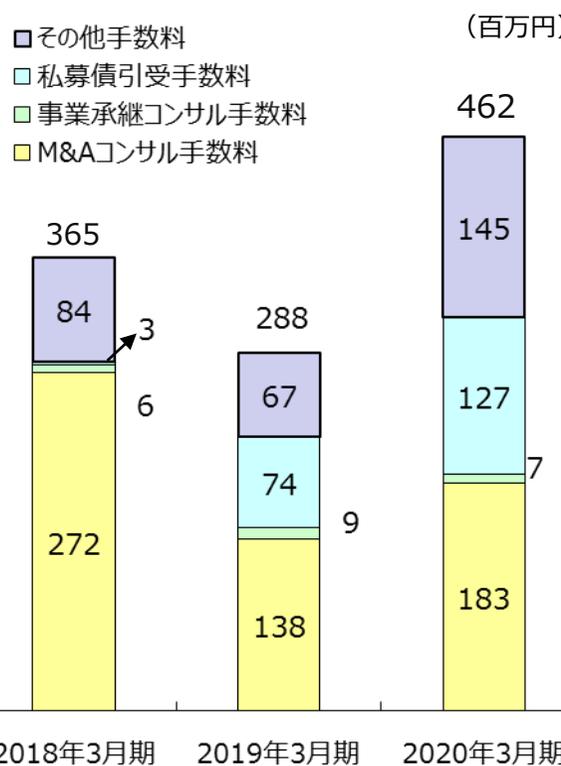
9. 役務取引等収益

- ▶ 事業承継の成約件数は減少したものの、M&Aの成約件数や私募債の引受件数が増加し、全体の成約件数は、前期比41件増加。
- ▶ ソリューション手数料はM&A関連手数料および私募債引受手数料の増加に加え、シローンやストラクチャリング、ビジネスマッチング等のその他手数料が増加したことから、前期比174百万円増加。

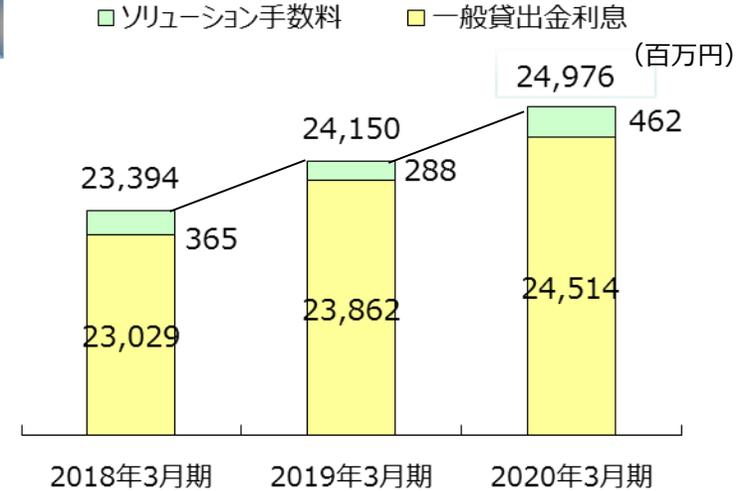
主要ソリューション成約件数推移



ソリューション手数料の推移



一般貸出金利息+ソリューション手数料



金融仲介機能の発揮による、ソリューション提供

- ビジネスマッチング … 当行ネットワークを活用した、取引先の販路拡大等のサポート
- 事業承継・M&A … 後継者問題解決や事業再編を支援
- 各種ファンド … 創業支援や地域活性化に資する企業への投資
- 国際業務 … 各種セミナー、海外商談会等の実施 海外事業展開のサポート
- その他 … オペリース、シローン、IoT支援等

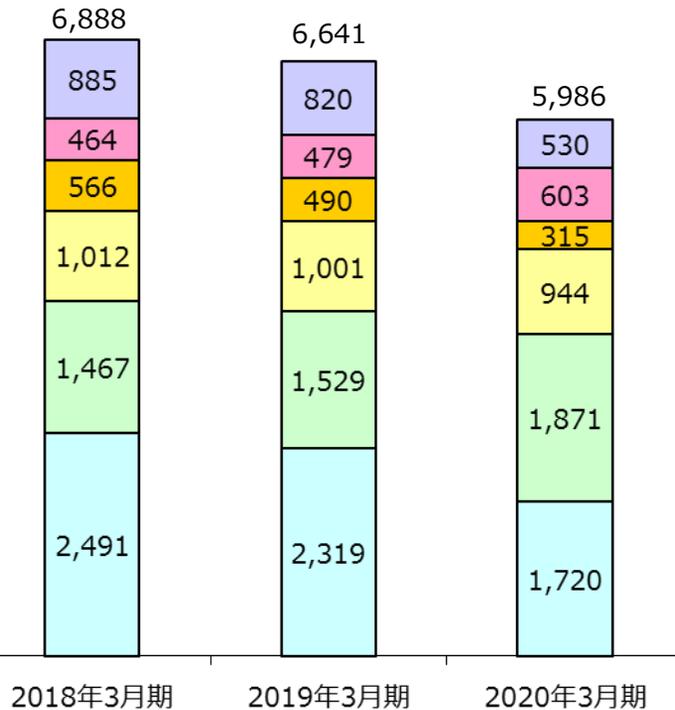
(※) 事業承継はコンサルティング契約件数、M&Aは成約件数、私募債は引受件数

10. 有価証券の状況

- ▶ 有価証券残高は、国債の償還のほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりエクスポージャーを減少させたことから、前期末比655億円減少し5,986億円。
- ▶ 評価損益は、新型コロナウイルス感染拡大にともなう株式・債券市場のボラティリティの高まりを受け、株式等の損益を確定させたため前期末比123億円減少し80億円。

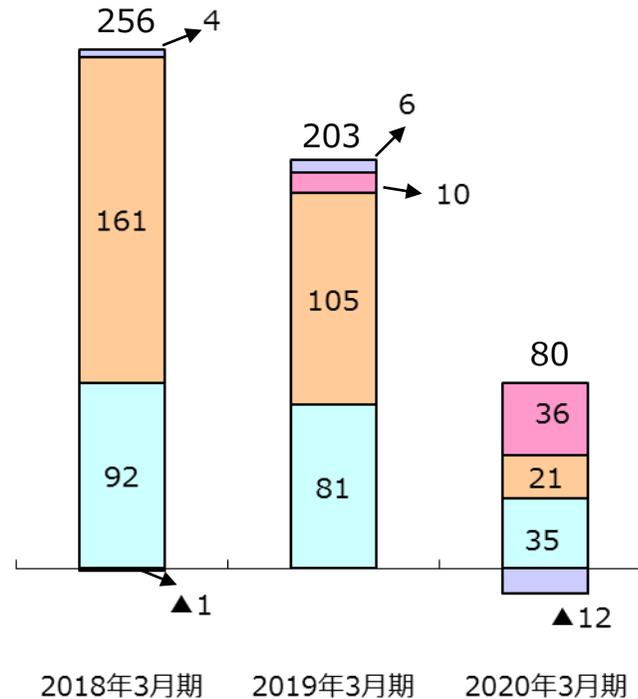
有価証券残高の推移

■ 国債 ■ 地方債 (億円)
■ 社債 ■ 株式
■ 外国証券 ■ その他



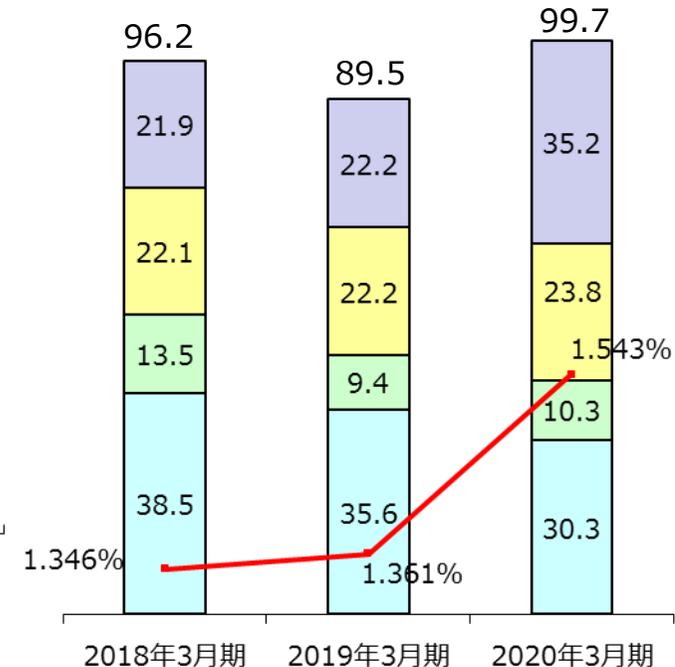
評価損益の推移

■ 国内債券 ■ 株式 (億円)
■ 外国証券 ■ その他



利息額と利回りの推移

■ 円債 ■ 外貨外債 (億円)
■ 株式 ■ 投資信託等
— 利回り



11.自己資本比率の状況

現状と今後の見通し

【自己資本比率】

8.31% (2020年3月期)
 前期末比0.06ポイント上昇

【要因】

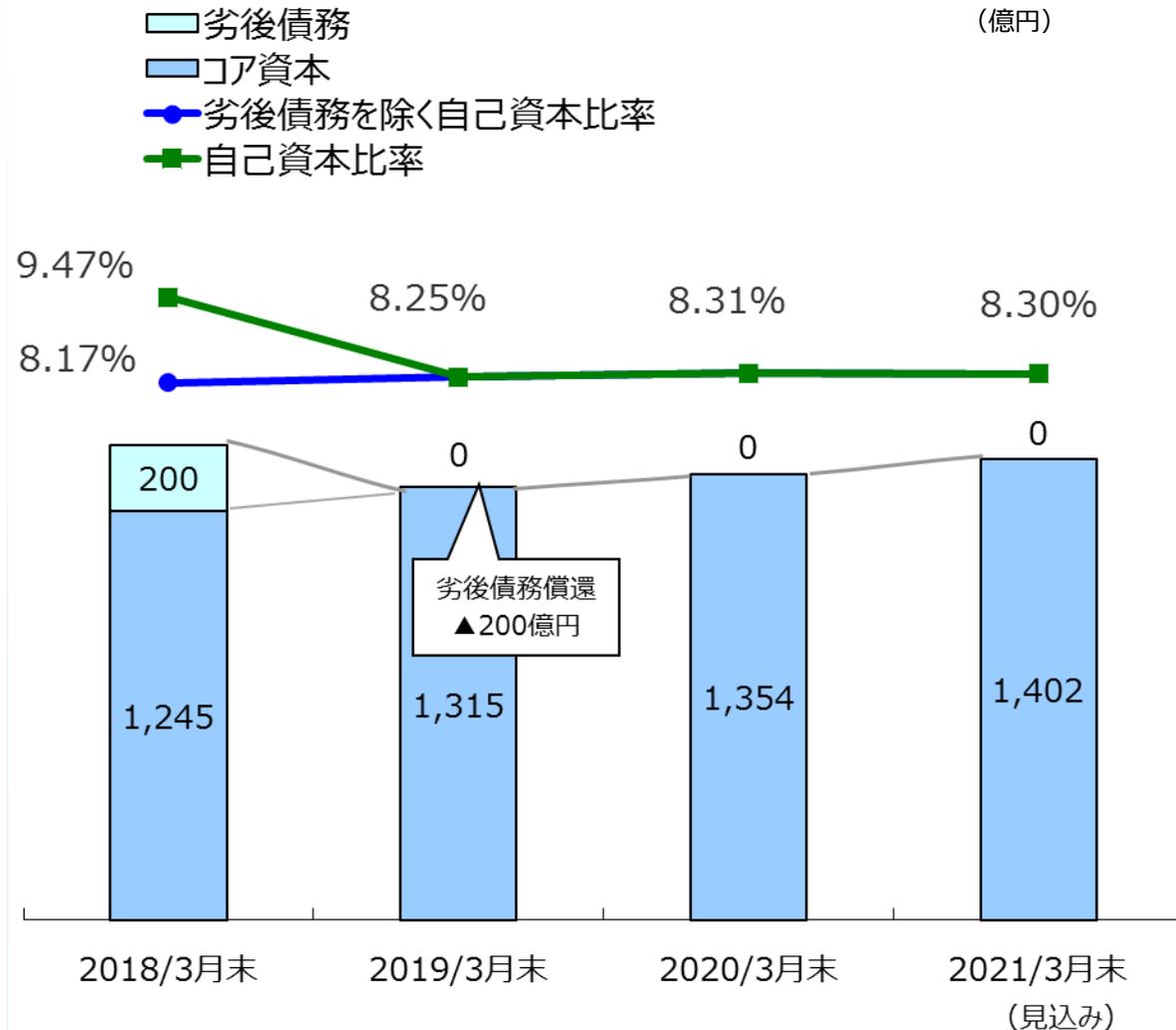
2018年度中に、劣後債務の繰り上げ償還200億円により、自己資本比率は低下。

2019年度は、貸出金の増加等によりリスク・アセットが増加したものの自己資本額の増加により上昇。

【2021年3月期の見通し】

8.30%
 引き続き、地元中小企業への貸出と非金利収入の増強を図り、自己資本の積み上げに努める。

自己資本額および自己資本比率の推移



12.株主還元の状況

現状と今後の見通し

【配当金】

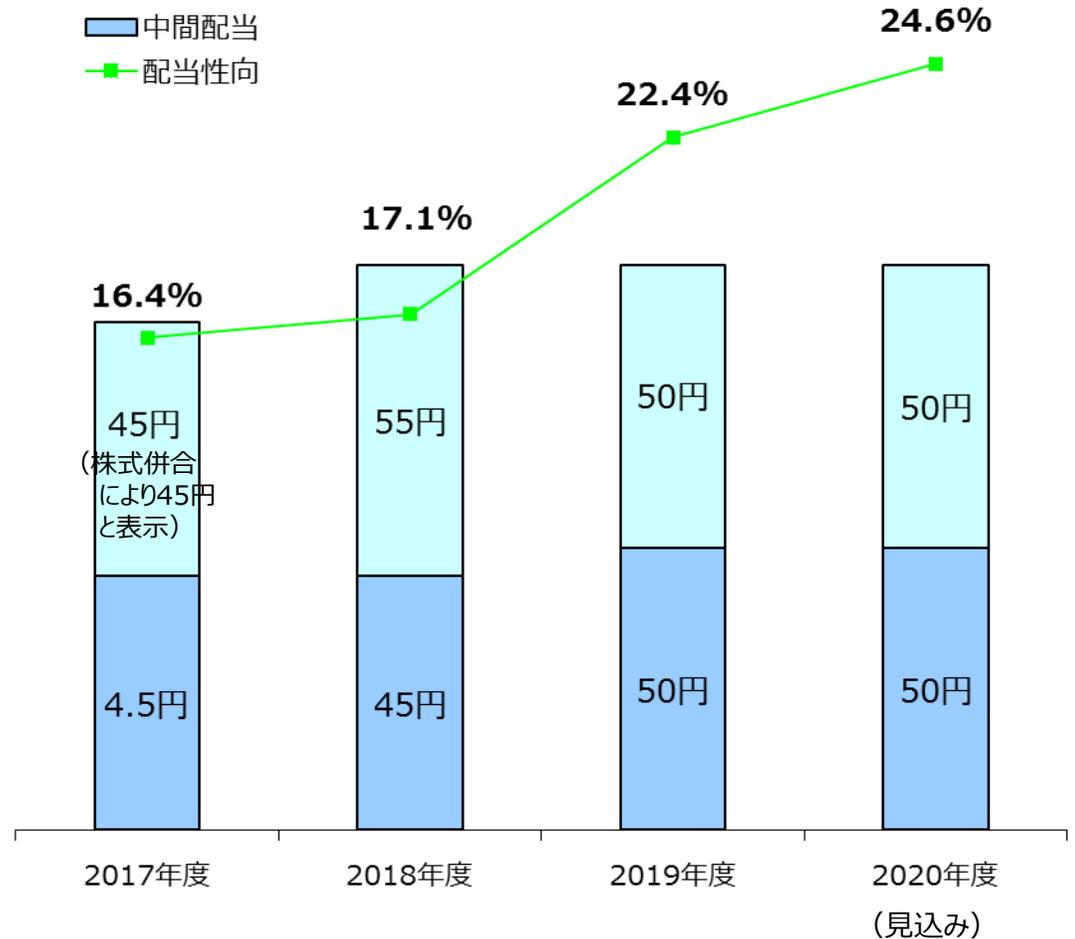
1株あたり年間100円（2020年3月末）
の安定配当

【2020年度以降の見通し】

- ・1株あたり中間、期末配当ともに50円を予定。
- ・今後も安定配当を基本とし、株主の皆さまへ利益還元を図ってまいります。

配当および配当性向の推移

■ 期末配当
■ 中間配当
■ 配当性向



Ⅱ. 新型コロナウイルス感染拡大 に伴う対応

1. お客様支援の状況

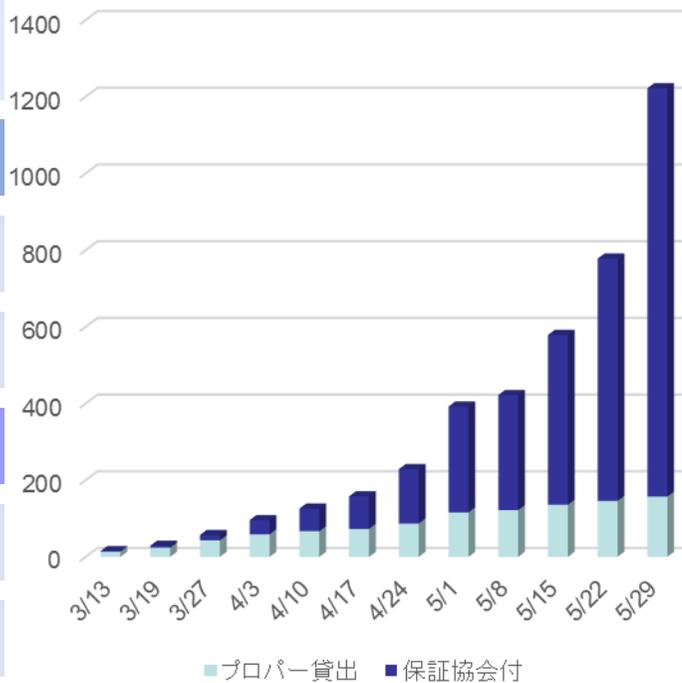
- ▶ 2月以降、専用相談窓口・休日相談窓口等を設置し、円滑な資金供給を可能とする体制を構築。制度融資等を活用した、積極的な資金繰り支援に注力。
- ▶ 4月の緊急事態宣言発令後、申込件数は増加が続いており、丁寧かつ真摯に対応し迅速な実行を実施。

2020年3月10日～5月29日までのご相談受付状況

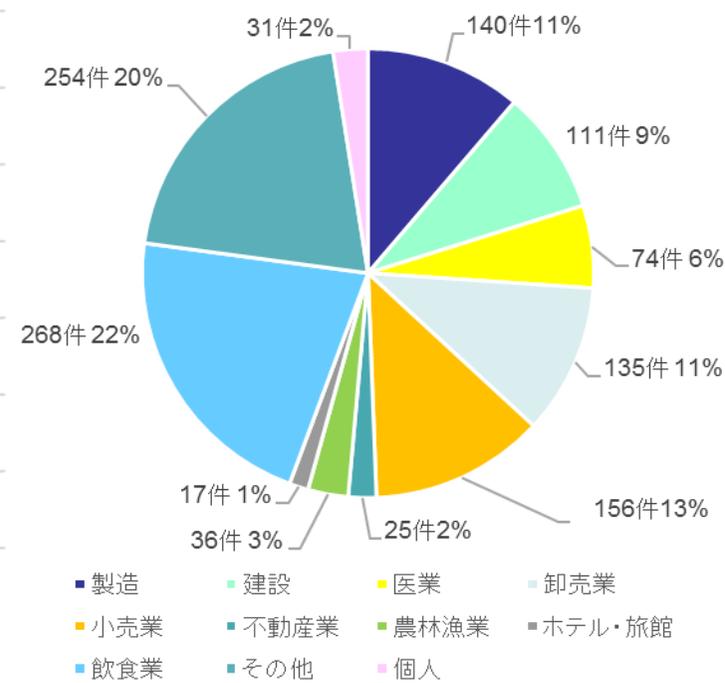
新型コロナウイルス関連融資実行状況

	件数	金額(億円)
新規融資	1,222	479
プロパー	157	302
保証協会	1,065	177
条件変更	443	215
事業法人	416	210
ローン	27	5

新規融資実行件数（累計）



新規実行業種別件数・割合



2. コロナに関する対応状況

地域・お客さまのサポート

- ・宮崎太陽銀行との共同支援ファンド「ひなたワンチーム」の取り扱い開始 … 総額200億円
- ・融資条件変更手数料の免除対応
- ・手続き時の柔軟な対応の強化
- ・事業者向け相談窓口および休日相談窓口の設置
- ・外国為替手数料の一部を免除対応
- ・対象カードローンについて一定期間の利息金額を全額キャッシュバック
- ・医療従事者の支援として、宮崎県医師会へ1,000万円の寄付を実施



営業店・本部の体制

- ・スプリット勤務およびテレワークの実施
- ・テレビ会議の活用
- ・一部営業店での昼休み休業導入
- ・地産地消の推進



決算上の予備的対応措置

- ・中期経営計画「With You」において、新型コロナウイルスの予備的対応費用として、信用コストや有価証券売買益について、経常利益ベースで3年間累計で当初計画から50億円の振れ（費用増加）を想定した。
そのうち、2021年3月期については、20億円の振れを予想。（信用コスト10億・有価証券関連10億）

Ⅲ.2021年3月期 業績予想

主要計数予想 (減収・減益)

▶ 景気悪化や新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた中小企業のお客さまに対する資金支援の増加が見込まれ、与信費用の増加を想定。減収・減益の予想。

	2021年3月期 業績予想	2020年3月期 実績	増 減
経常収益	450億円	501億円	▲51億円
一般貸倒引当金繰入額	0億円	▲2億円	▲2億円
不良債権処理額	20億円	15億円	5億円
経常利益	100億円	110億円	▲10億円
当期純利益	70億円	76億円	▲6億円
自己資本比率	8.30%	8.31%	▲0.01%

IV. 中期経営計画「With You」

1.新中期経営計画「With You」

Comment

人口減少や新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気低迷が懸念される中、当行は、2020年4月から中期経営計画「With You」（計画期間：3年間）をスタートさせました。

当行の使命は、地域の新しい未来を創ること。そして、この地域の新しい未来を実現することこそが、当行の持続的な成長につながると考えています。

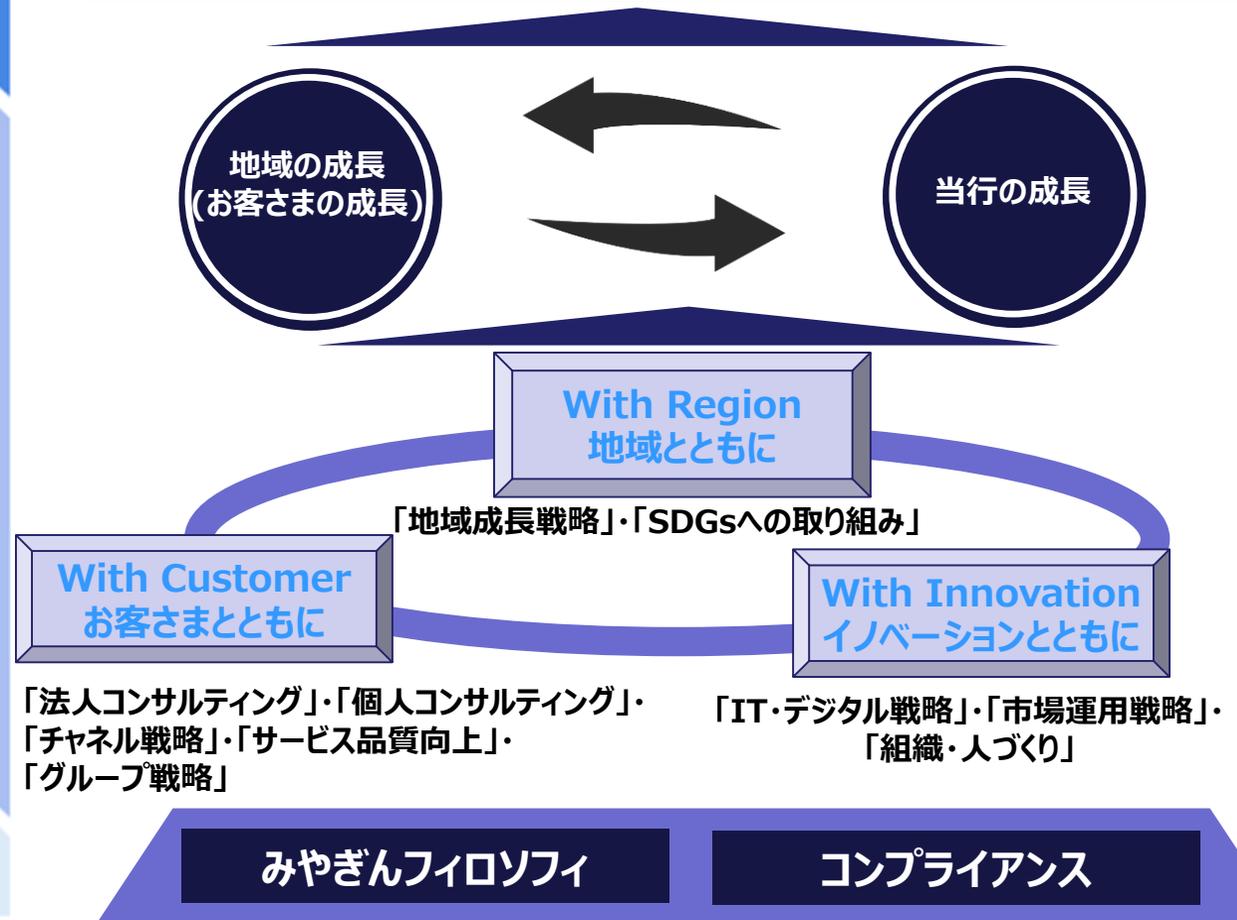
長期ビジョンでは、地域とともに「新しい未来」を創り上げていくための具体的な行動として「企業の成長支援」と「家計の資産形成支援」に徹底的に取り組むことを掲げています。

長期ビジョン

中期経営計画

基盤

宮崎銀行は、地域社会との共存共栄を目指し、
1. 共通価値創造と金融仲介機能による企業の成長支援
2. 家計の健全な資産形成支援
 に取り組むことで、2030年に地域の「新しい未来」を実現します。



2.「With You」の概要

Comment

「With Region～地域とともに」・「With Customer～お客さまとともに」・「With Innovation～イノベーションとともに」の3つの基本方針のもと、10の重点戦略を掲げ注力してまいります。

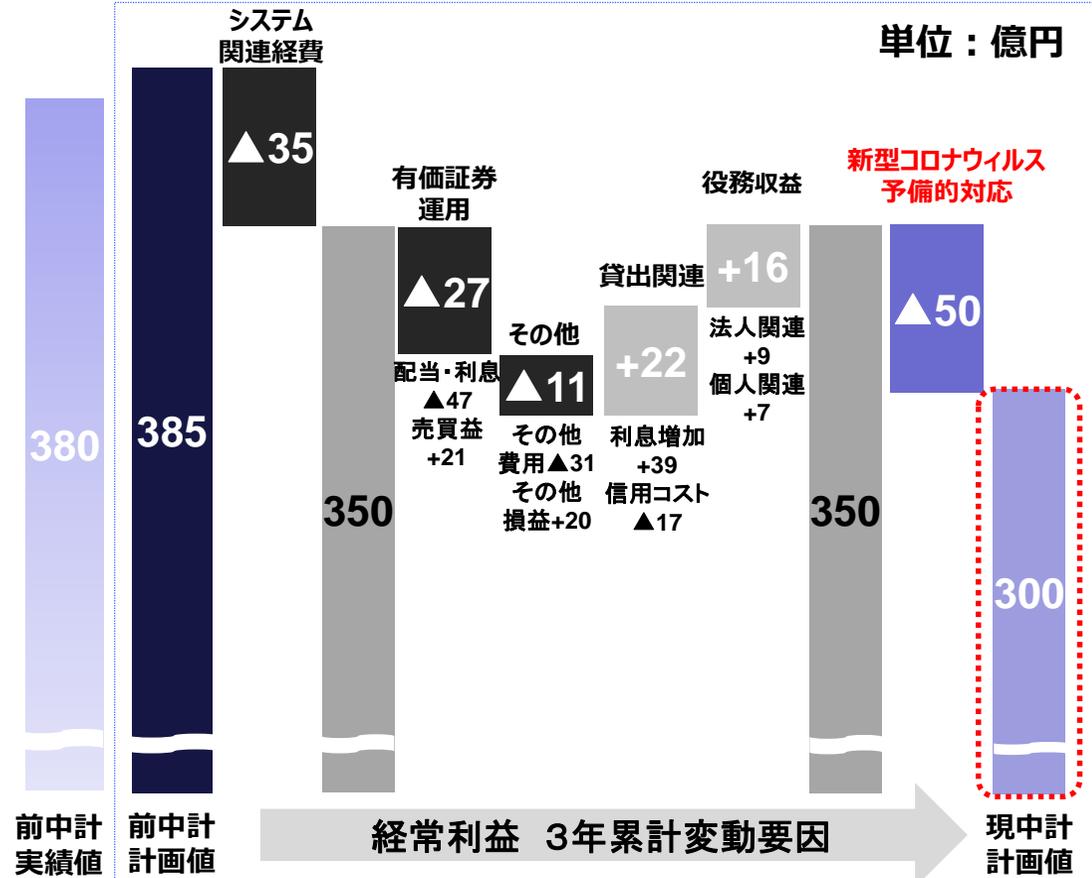
		基本方針	重点戦略
名称	With You	With Region	地域成長戦略 ・本業を通じた支援と直接的経済活性化支援の両面を実施
目指す姿	「With You」の精神で、地域と当行の成長を両立するリーディングカンパニー		SDGsへの取り組み ・地域の持続可能な成長に向けた取り組みを強化
計画期間	2020年4月～2023年3月（3年間）		法人コンサルティング ・営業店・本部・グループ会社の一体営業の強化とソリューション機能強化によりお客さま本位のコンサルティング営業を実践
戦略の基本方針	「With Region」～ 地域とともに	With Customer	個人コンサルティング ・お客さま本位の業務運営の定着と、コンサルティング営業を通じたソリューションを提供
	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsを経営戦略に取り込み、地域の抱える課題を解決することで地域の「新しい未来」を実現する 		チャネル戦略 ・店舗網の再構築、マスコンタクト営業の本部推進、デジタルサービスの利便性向上
	「With Customer」～ お客さまとともに		サービス品質向上 ・業務改革、手数料体系の見直し、預金戦略
	<ul style="list-style-type: none"> ● 信頼できる「パートナー」として、対話を通じたコンサルティング営業によりお客さまの成長を実現する ● 金融リテラシーの向上とライフプランに則したご提案によってお客さまの長期的な資産形成を実現する 		グループ戦略 ・エクイティ支援の強化、IT・デジタル分野の強化、新規ビジネスの展開に注力
「With Innovation」～ イノベーションとともに	With Innovation	IT・デジタル戦略 ・オープンイノベーションとグループ会社との連携	
<ul style="list-style-type: none"> ● 先端技術を取り入れることで、新たな金融サービスの提供と業務改革を進めるとともに、地域・お客さまのIT・デジタル化を支援する ● 激変する外部環境に適応できる柔軟な経営基盤を構築する 		市場運用戦略 ・機動的な有価証券運用による総合的な収益力の確保	
			組織・人づくり ・組織風土改革と人材育成強化

3. 計数計画

Comment

計数計画はこれまでと異なり、3年累計の数字を採用しました。計画期間中を通して、しっかりと利益を確保していくことを掲げています。また、2020年3月期については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う株価下落等により、有価証券関連損益で減益インパクトがありました。そのため、中期経営計画「With You」では、「新型コロナ予備的対応」として、信用コストや有価証券売買益について経常利益ベースで3年間累計で50億円の下振れを予備的に織り込みました。そのうち、2021年3月期については、20億円程度の下振れを想定しております。

項目	「With You」
3年累計 経常利益	300億円
最終年度 自己資本比率	8%以上
最終年度 ROE	4.5%以上
最終年度 OHR	69%未満
最終年度 総貸出未残	21,600億円
最終年度 預金未残	27,000億円



V.SDGsに関する取り組み

1. CSR型私募債の引き受け状況



企業の皆さまの地域貢献活動を応援します!!


みやぎんCSR型私募債

 『愛称:With』

2018年5月の取り扱い開始以来、 152件(総額114億円)の引き受けを実施しました!

発行企業が希望する学校・団体等へ寄付をすることができる「みやぎんCSR型私募債（愛称:with）」は、地元企業の社会貢献機運の高まりとともに、2020年3月末現在で累計152件（総額114億円）の引き受けを実施しました。（2019年度実績…100件・70.9億円）
今後とも、企業のCSR活動を地元金融機関として後押しすることを通じて、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

8 働きがいの
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを




2. 持続可能な地域経済の成長

持続可能な地域経済の成長



地域活性化に向けた シンジケート・ローン組成

宮崎駅西口開発事業



宮崎カーフェリー株式会社



宮崎駅周辺のさらなる発展のため、また、地元の海上インフラの維持・向上のため、シンジケート・ローンを組成しました。

農業法人夢逢いファーム

富吉農場



高鍋農場



2年前から栽培したアボカドは10月に初収穫を迎えました。また、高鍋農場では、希少価値の高いレモン(璃の香)とコーヒーの栽培を開始しました。

大分銀行との連携協定



合同預金キャンペーン

地方銀行フードセレクション
での共同ブース設置



両県企業の
コラボ商品開発

2019年3月の連携協定締結後、共同でさまざまな商品やイベント等の企画・運営を実施しました。

宮崎大学ビジネスプランコンテスト



3回目の開催となった「宮大ビジコン」は、19組の応募があり、学生による熱いバトルが繰り広げられました。

3. 持続可能な地域環境の形成

持続可能な地球環境の形成



環境省・地銀4行の連携協定



国立公園等の地域資源の持続的活用やSDGs普及・啓蒙を目的に「中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定」を締結しました。

脱炭素への取り組み



窓口での顧客配布用ポリ袋の廃止や、簡易包装など脱炭素への取り組み、また地球環境配慮型サービス品の採用を行っています。

温室効果ガスの削減

太陽光発電装を設置し、EV充電スタンドを設置しました。また営業店や本部棟玄関では、宮崎県産材を利用しています。



森林保全・清掃への参加



宮崎市街地の清掃に200名超の行員が参加し、地域の皆さまとともに清掃活動を行いました。また、「みやぎんの森」の森林整備活動に取り組みました。

4. 持続可能な地域社会の実現

持続可能な地域社会の実現



金融リテラシー

みやぎんキッズセミナーの開催



エコノミクス甲子園の開催



若年層の金融リテラシー向上に資する取り組みの一環として、さまざまなイベントを企画・運営しました。

みやぎん女性経営者の会 「彩色賢美」



2019年度は本会員の経営者さまにご登壇いただき、また、大分銀行女性経営者の会「花凜」と合同で、ビジネス交流会を開催。合計3回、交流会を行いました。

健康経営の証



経済産業省および日本健康会議より、優良な健康経営を实践する企業として3年連続で認定され、表彰を受けました。

女性のための行内環境整備



「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」を策定しました。また、県内企業初となる3回目の次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。

VI.代表取締役の異動

1.代表取締役の異動について

Comment

6月の定時株主総会後の取締役会の承認を得て、頭取の平野が代表取締役会長へ、常務の杉田が代表取締役頭取に就任いたします。当行は引き続き、「郷土と共にある地方銀行」の経営姿勢を堅持するとともに、地域へのさまざまな投資の効果を、持続可能な発展につなげてまいります。
 今後も、宮崎銀行グループ一丸となって地域経済の活性化と企業価値の向上に努めてまいります。

代表取締役会長

平野 亘也



代表取締役頭取

杉田 浩二



Design Future With You

～ 地域と共に未来を描く ～

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包しております。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性のあることにご留意ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社宮崎銀行 経営企画部 広報室

TEL: 0985-32-8213